

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

事業所名 コペルプラス 千歳船橋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	運動スペースは狭いが、安全に活動できるよう配慮している	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	一人の職員の公休日が同一曜日に重ならないよう設定。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	玄関の靴を脱ぐ場所、手洗い場での手洗いの仕方のポスター、待つ場所の足マーク等、子どもにわかりやすい掲示を心掛けている	世田谷区バリアフリー建築条例認定事業所です
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	日々の清掃または、その都度換気や適宜消毒等行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	日々のミーティングで周知、徹底している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	職員全員で周知し、改善策を考え	保護者様に対して事業所評価の実施を行っている

					る機会を設けている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページやLINEでお知らせする	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		(第三者評価未実施)
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	社内、社外研修の紹介や参加を促し、参加した際には職員全員で共有している	研修の内容の工夫を今後も職員の資質、指導力アップのために継続していく
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	人員配置数の改善などで十分な研修時間の確保を検討する	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	支援計画変更時だけでなく日々の療育でも支援計画に合っているか確認していく。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	保護者様のご意見や要望等を傾聴し、日々の療育に活かしている	職員が伺った情報を個別情報シートなどに記載し、ミーティングなどでも報告の機会を持ち、職員間で共有を徹底する
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	毎回の療育の前個々の支援計画を必ず確認し、その日の課題を明確にしてから療育	

				にあたるよう徹底している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		コミュトレの立案などは参加者の現状に応じてチームで行っている
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	毎月プログラムが変更され固定化しないようになっている	保護者様と相談し、状況に応じて個別課題を取り入れることも都度検討していく
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	コミュニケーショントレーニングに多数の児童が参加できるよう人数やコマ数を工夫している	粗大運動の時やコミュニケーショントレーニングへの参加の仕方を工夫していく
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	職員間で確認、打ち合わせなどを行っている	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	職員間で確認、打ち合わせなどを行っている	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	療育の振り返り、保護者様からの要望などを共有し、引継ぎを行っている。	指導員として、小さな変化やつぶやき等を逃さずに聞き取る力、気付く力を養えるよう資質を磨くようにしている
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	どの職員が見てもわかりやすく状況	

					が伝わるような丁寧な記録を心掛けている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児発管が参加している	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	各区役所、相談支援事業所や通園施設と連絡を取り合っている	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6		該当しない
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		該当しない
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	希望者に対して情報共有など行っている	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	希望者に対して情報共有など行っている	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	連携、研修に参加している	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		交流を希望しない保護者もあり、コペルのプログラムとして必要かどうかは検討していく
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		世田谷区要保護児童支援協議会への参加手続きはし

					てあるため、今後あれば参加して情報交換していく。	
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	療育終了後のフィードバックやマイページの記録等を通して振り返り、成長や課題を共有している。	今後もフィードバックの時間やマイページを活用して共通理解を図っていきたい。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	5	相談があれば児発管が子どもへの接し方のアドバイスをその都度行っている。	
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に行っている。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	丁寧な説明を心掛けている。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	よりよい支援について一緒に考えている。	
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	希望があれば開催した。	保護者が施設に通所していることを伏せている方もいるので慎重に検討していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	その都度対応し、職員間で共有している	
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	ブログや LINE を利用し、教室の状況を定期的に発信している。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人名を特定できるような話をしていない等書類の管理等徹底して注意している。	今後も慎重に扱うよう徹底していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	様々な視覚支援や明確なことば遣い等工夫している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		現在のところ地域住民を招待するような活動の必要性が感じられないが保護者様のご意見も伺いながら検討することも考慮していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	事業所内にマニュアルを配置 月に一度マニュアルの読み合わせ研修を実施している	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	非常時持ち出し袋を常備している 年2回の避難訓練を実施、消防署へ報告している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	状況の把握はしている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6	食事やおやつを提供していない	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	全員で情報共有、対応方法や改善をすぐに行っている	

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			職員間で研修、カンファレンス等を行っている。	研修だけでなく、風通しのよい職場環境であることを重視して日々の情報交換を大切にする。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			保護者様には契約時に説明しご理解いただいている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。